

生きがい活動支援室だより

http://chuosenior.ec-net.jp/ 中央区佃 1-11-1 シニアセンター内 ☎ 3531-7813

2020
3月号
VOL. 150



「迎賓館」 赤坂離宮の本館前で記念写真

わたしの生きがい 高齢者クラブ紹介 (42)

日本橋地域 「たちばな会」

「たちばな会」の発足

昭和54年1月に、日本橋橋町に町会の高齢者クラブとして誕生しました。近隣者同士で、助け合い活動をしてきましたが、時代の変貌で会員が減り、平成18年10月に残念ながら一時休会となりました。しかし、町会の皆さんからの再開要望が強くなり平成22年4月に活動を再開いたしました。

会員相互の親睦を図り、健全で明るく楽しい生活を目的に、定例会・親睦会・講演会・レクリエーション・社会奉仕活動や会員が希望する活動についても毎年役員会で検討し、各自の仕事や家庭の負担にならないように進めています。

活動内容

会の主な活動は、①定例会・役員会(毎月)②ラジオ体操、③町内清掃④健康講座、⑤研修旅行をメインに行っていますが、会員からご希望があれば検討実施もしています。

その他中央区クリーンデーに参加して町会内の清掃をしたり、東日本橋交差点にある緑地帯の草取りは常に実施しています。

8月は「大江戸まつり」の盆踊りに向けた恒例の練習会があり、若い人と一緒に「東京音頭」や「どたればちサンバ」などを元気よくリズムのつて踊ります。本番で櫓の上で踊る準備を皆さん楽しく賑やかにしています。

秋の食事は美味しい、食べてみたいと評判のお店に行き、美味しい料理を堪能し、また皆さんと歓談するのが楽しみです。

もちつき大会、敬老の祝い、新年会なども毎年行います。このような機会には、おとしより相談センター、久松警察署などから「お話を聴きする」機会を設けています。

橋町の歴史を古くから伺い、皆さんからは経験談として話して頂くお話し会、朗読を趣味として勉強されている会員から心に響く「朗読」をお聞きする場もあります。

健康予防講座では「毎日の健康な生活にすぐに役立つケア、ちょっとした体と心のつぼ」をご指導頂きます。また健康吹矢講座もあります。

そして研修旅行も皆さん喜んで頂けるような場所を役員で毎回検討し、前回は赤坂離宮の「迎賓館」を見学しました。国が国賓を処遇する館を皆さん見学し大いに感動しました。

これからも会員の皆さんが楽しんで、喜んでいただけるような企画を立て、多くの皆さんに参加していただけるように役員一同頑張ります。

代表者：渡邊圭子

振り込め詐欺に だまされないで！！

ハガキによる架空請求

メール・SMSによる架空請求

総合消費料金に関する 訴訟最終告知のお知らせ

管理番号(○)△△△△

あなたが利用していた会社から契約不履行による民事訴訟として、訴状が提出されたことを通知します。

裁判取下げ最終期日を経て訴訟を開始させていただきます。裁判取下げなどのご相談は当局にて承りますので、職員までお問い合わせください。

※取下げ最終期日 令和2年○月○日

法務省管轄支局 国民訴訟通達センター

東京都千代田区霞が関×-×-×

お問合せ 03-××××-××××

有料動画の未納料金が発生しています。本日中にご連絡なき場合、法的手続きに移行します。アマゾンサポートセンター※

03-××××-××××

※実際に架空請求業者が使用した名称の例です。

絶対に連絡しないで！！

還付金詐欺 区役所をかたり、電話で「保険料の還付がある」と偽ってATMに誘導し、高額の金額を振り込むよう指示してきます。

あやしいと思ったら、すぐ相談

中央区消費生活センター 03-3543-0084

03-3546-5727

月曜日から金曜日まで（祝日・年末年始を除く）

午前9時から午後4時まで

中央区築地1-1-1 中央区役所1階

身近な話題・トピックス

《お雛様の由来》

ひな祭りの由来は、中国から伝わる「五節句」の行事のひとつの「上巳(じょうし)」といわれています。

【五節句】

1月7日	人日(じんじつ)	七草がゆ
3月3日	上巳(じょうし)	桃の節句
5月5日	端午(たんご)	菖蒲の節句
7月7日	七夕(しちせき)	星祭
9月9日	重陽(ちょうよう)	菊の節句



季節の節目は、昔から邪気が入りやすいとされていました。中国では「上巳」に川で身を清める習慣があり、日本では紙などで作った人形で自分の体を撫でて穢れを移し、川に流すことで邪気祓いをする行事として広がってきました。これが現在でも残る「流し雛」のルーツといわれています。

「上巳」が広まる平安時代の頃、貴族の子ども達の間で「雛あそび」と呼ばれる現在の「ままごと」に近い人形遊びが流行していました。この「雛」が「小さくてかわいらしいもの」という意味から、この「人形遊び」と「上巳」が結びつき、今の「ひな祭り」の原型になったと考えられています。

時代とともに人形作りの技術が発達し、立派な人形が作られるようになり、やがて川に流されるものから創るものに変わってきました。そして江戸時代に入り、女の子のための行事として定着するようになったようです。

《万葉集》

9巻 1748番



我が行(ゆ)きは 七日(なぬか)は過ぎじ 龍田彦(たつたひこ)

ゆめこの花を 風にな散らし

高橋虫麻呂(たかはしのむしま)

私の旅は7日を越えることはないでしょう。龍田彦(奈良県にある龍田大社。風の神を祀ったとされている。)よ、決してこの花を散らさないでください。

生きがいひろば
京橋ひろば

2月12日 (水)
2月26日 (水)

《読み語りの会》

生きがいひろば

青柳幸子さん「庭」、長沼美智子さん「役者バカ」、塚本美弥子さん「連れあい」3話ともにそれぞれの家庭の中の様子が手に取るようにわかり、登場人物の姿が目には浮かぶようでした。どのような環境であっても変わることのない家族、夫婦の絆。しっとりとした口調の中に感じることができました。

岩間数子さん「赤神と黒神」では、津軽半島に住む黒神、男鹿半島に住む赤神、そして田沢湖に住む女神様。この3神が繰り広げる恋物語。女神様の美しい歌声、笛の音に不



左から岩間数子さん、長沼美智子さん、塚本美弥子さん、青柳幸子さん

京橋ひろば

大野美弥子さん「姑の写真」、前田真智子さん「鉾の女」、藤野トシ子さん「漱石の食卓」、藤山光子さん「俵藤太物語」様々なジャンルのお話を聞かせていただきました。

姑の存在感を改めて感じさせる「姑の写真」。女性の本当の怖さを知る「鉾の女」。夏目家の“ぬか漬け”事情を知ることができた「漱石の食卓」。御伽草子の中の「俵藤太物語」、大蛇退治の迫力を感じることができました。

最後には「18歳と81歳の違い」を皆さんで読み、楽しい笑い声が上がっていました。



前列左から長沼美智子さん、藤野トシ子さん 後列左から大野美弥子さん、前田真智子さん、藤山光子さん

お知らせ

3月のひろば「コロナウィルス感染予防」のため、中止となります。